

アンドレ・ジッドとピアノ（年表）

才	西暦	ジッド関連の出来事	同時代の出来事・作品
	1867	従姉で後の妻となるマドレーヌ誕生（～1938）	夏目漱石誕生（～1916）
0	1869	アンドレ・ジッド、パリに誕生 兄弟姉妹なし 父はパリ大学法学部教授、母の実家は貿易商	ガンディー誕生（～1948）
7	1876	ピアノのレッスンを始める	ワーグナー《ニーベルングの指環》全曲初演
10	1879	母に連れられ、定期演奏会に通いはじめる	チャイコフスキー《エフゲニー・オネーギン》初演
11	1880	父ポール没	《君が代》初演
14	1883	アントン・ルービンシュタインがショパン・コンサートを行うが、母が「不健康」と判断し行けず。	ブラームス、交響曲第3番初演
18	1887	マルク・ド・ラ・ニュクスレッスンの始まり。	フォーレ、ピアノ四重奏曲第2番初演
22	1891	小説『アンドレ・ワルテルの手記』で文壇デビュー このころニュクスレッスンの終わりが、以降も親交が続く。	ゴーギャン『タヒチの女』
23	1892	「シューマンとショパンについての覚え書き」を構想する	チャイコフスキー《くるみ割り人形》初演
26	1895	母ジュリエット没 マドレーヌと結婚	日清戦争終結 樋口一葉『たけくらべ』
28	1897	散文『地の糧』発表	尾崎紅葉『金色夜叉』（～1902）
33	1902	小説『背徳者』発表	シェーンベルク《浄夜》初演 ロダン『考える人』
40	1909	小説『狭き門』発表	漱石『それから』
45	1914	このころから断続的に「ショパンについての覚え書き」の執筆にとりかかる。	第一次世界大戦勃発（～1918）

47	1916	自伝『一粒の麦もし死なずば』の執筆に本格的に取り掛かる。	森鷗外『高瀬舟』 芥川龍之介『鼻』
50	1919	小説『田園交響楽』発表	武者小路実篤『友情』 ラヴェル《クープリンの墓》初演
56	1925	小説『贗金つかい』発表。作品にはド・ラ・ニュクスをモデルとしたピアノ教師が登場。	梶井基次郎『檸檬』 フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』
57	1926	『一粒の麦もし死なずば』公刊	川端康成『伊豆の踊子』
60	1929	アルフレッド・コルトーのレコード(ショパンの前奏曲集)を聴き、憤慨する	世界恐慌 レスピーギ《ローマの祭り》初演
62	1931	「ショパンについての覚え書き」を雑誌に発表	満州事変
64	1933	このころ趣味のピアノを止める	ドイツでヒトラー政権誕生
67	1936	小説『ジュヌヴィーヴ』発表	二・二六事件 ダリ『内乱の予感』
69	1938	妻マドレーヌ没	サルトル『嘔吐』
69	1939	第二次世界大戦勃発、以降はニースなどの南仏の知人宅を転々とする	ジョイス『フィネガンズ・ウェイク』
73	1942	チュニスに疎開 疎開先でピアノを戯れに弾いてみるもバッハ・シューマン・ショパンが断片的にしか思い出せないことに愕然とする	ミッドウエー海戦 カミュ『異邦人』
77	1946	最後の小説『テゼ』発表	坂口安吾『白痴』
78	1947	ノーベル文学賞受賞	太宰治『斜陽』
79	1948	「ショパンについての覚え書き」を日記の抜粋などとともに単行本化	第一次中東戦争(～1949)
81	1951	1月、映画『アンドレ・ジッドとともに』のために、女優アニク・モリスへのピアノレッスンを自宅で撮影 2月19日、没	サンフランシスコ平和条約締結 シェーンベルク没(1874～1951)